



→創立100周年時に復活した棒踊り



園児も笑顔でかけっこに参加



「お父さん、前が見えないよ」



優勝旗を手にする紅組応援団長の白石君



釣った獲物（景品）に大喜びの住民ら

や卒業生らが観覧に訪れ、地区対抗綱引きや玉入れ、リレーなどに参加し汗を流しました。児童らが一生懸命に走る姿に声援と励ましの拍手が送られ、たくさんの方々の笑顔の花が咲きました。

台風の影響で雨が心配されたこの日ですが、児童らの大きな声援と応援合戦が雨をはねのけ、全ての競技をグラウンドで行うことができ、運動会の目玉、紅白対抗リレーで幕を閉じました。

接戦となった紅組と白組の争いは、わずか1点差で紅組の優勝となりました。

保護者らが着ていたTシャツの背中にプリントされた「だんだんなあ、もとしょう（ありがとう本小）」の文字からわかるように、随所に感謝の気持ちと本浦魂が表れた運動会となりました。

鹿児島市から訪れた浅谷あき子さん（昭和47年度卒業生）は「懐かしさと嬉しさの中、子どもたちに声援を送る地域の人たちの笑顔が素敵だった。子どもたちには、諸浦島で生まれ育ったことを誇りに思い、頑張ったことと話をし、母校最後の運動会を惜しんでいました。」